

コースNo. **119** ★東京発着

子どもたちの笑顔と未来をつくる
カンボジア教育ボランティア活動 23
日間

旅行代金(東京発着) お一人様あたり

出発日	旅行代金(燃油サーチャージ込)
8月19日(水)	179,000円

全員相部屋利用です。一人部屋希望はお受けできません。

- 食事:日程表に記載の通り
 - 最少催行人員:10名(定員18名まで)
 - 添乗員:添乗員は同行しませんが大学教員が全行程同行します。学校スタッフ及び現地係員がお世話します。
 - 滞在:カンボジア日本友好学園内施設、パシフィックホテル(ブンベン)、メモワール・シェムリアップホテル(シェムリアップ)、ソバン・ドッチホテル(ネックルーン)
 - 利用予定航空会社:全日本空輸、カンボジア・アンコール航空(エコノミークラス)
 - パスポート残存有効期間:カンボジア入国時6ヶ月以上
 - 査証:必要。各自または代理取得の方法をサンキューレーターにて案内します。
 - 学校:カンボジア日本友好学園での授業 平日4時間 計10日間
- ※下記は旅行代金に含まれませんので、旅行代金と合わせてお支払いください。(2020年3月1日現在)
日本国内の空港施設使用料(成田:2,130円)、旅客保安サービス料(成田:530円)、および国際観光旅客税1,000円
※このツアーは現地研修費(学校使用料、生活費など)としてお一人様550米ドルを現地でお支払いいただきます。

日程

1	8/19 (水)	成田 フノンベン	10:00~12:00 全日本空輸にてフノンベンへ 14:00~16:00 着後、現地係員の出迎えを受け専用バスでホテルへ 夕食後、ホテルでの顔合わせミーティング、予定の確認	フノンベン
2	8/20 (木)	フノンベン	フノンベン散策、友好学園生活の準備の買い出し コン・ポーン氏、アシスタントなどと夕食会	フノンベン
3	8/21 (金)	フノンベン カンボジア日本 友好学園	【午前】専用バスにてプレイヴェン州カンボジア日本友好学園へ 近くの市場まで散歩、生活環境設定、授業準備 ※学園では空き教室に木製ベッドを並べ、蚊帳を吊って覆ます	友好学園
4・5	8/22 (土) 8/23 (日)	カンボジア日本 友好学園	生活環境設定、授業準備	友好学園
6	8/24 (月)	カンボジア日本 友好学園	8/24 生徒登録、授業(7時開始~11時半終了)、昼食、ミーティング、自由時間	友好学園
10	8/28 (金)	カンボジア日本 友好学園	8/25~28 授業(7時開始~11時終了)、昼食、ミーティング、自由時間	友好学園
11・12	8/29 (土) 8/30 (日)	友好学園 ネックルーン 友好学園	メコン川沿いの町ネックルーンに休養と買い出しをかねて小旅行 途中、チュウカ山で遊ぶ。メコン川クルーズも可能	ネックルーン 友好学園
13・17	8/31 (月) 9/4 (金)	カンボジア日本 友好学園	8/31~9/3 授業(7時開始~11時終了)、昼食、ミーティング、自由時間 9/4 授業(7時開始~9時終了)、お別れ会、集合写真	友好学園
18	9/5 (土)	カンボジア日本 友好学園 フノンベン	【午前】専用バスにてカンボジア日本友好学園からフノンベンのホテルへ (部屋のご利用は15:00以降) さよなら夕食会	フノンベン
19	9/6 (日)	フノンベン	ホテル→専用車にてフノンベンツアー トゥールスレン、博物館、王宮、フノンベン大学、ワットプノムなど (入場料など各自)	フノンベン
20	9/7 (月)	フノンベン シェムリアップ	専用車にて友好学園卒業生が経営するコンポーンム州・コサル農園を訪問 →近年世界遺産に認定された大注目のサンボア・プレイ・クワック遺跡見学 →シェムリアップ着後、ホテルへ	シェムリアップ
21	9/8 (火)	シェムリアップ	専用車にてアンコール遺跡群見学、アンコールワット、アンコールトム、タ プロム観光 観光後、ホテルへ	シェムリアップ
22	9/9 (水)	シェムリアップ フノンベン	【午前】出発まで自由行動 専用車にてホテルより空港へ 13:00~15:00 カンボジア・アンコール航空、全日本空輸にて成田空港へ (フノンベン乗り換え)	機中泊
23	9/10 (木)	フノンベン 成田	05:00~08:00 成田着、解散	

旅行企画・実施 全国大学生生活協同組合連合会 旅行センター

※上記スケジュールは、現地事情により変更となる場合があります。

食事提供の有無 → 朝食 昼食 夕食 ……現地研修費にて ……機内食

あんしん24 海外旅行保険&サポート付き!
CO-OPあんしんダイヤルで24時間対応!

申込締切:
6月12日(金)



“プチ先生体験”してみませんか?

子どもたちの笑顔と未来をつくる活動です。現地ではカンボジア農村地帯の子どもたちに2週間、日本語/英語の基礎を教えます。一緒に遊び回ったりして仲良くなります。どうすれば「わかりやすく」「楽しく」授業ができるか、事前に考え準備します。

このツアーのおすすめPoint

①大学生のボランティア活動として16年の実績

茨城キリスト教大学の学生を中心に2004年から毎年実施されてきた定評あるプログラム。15年からは「海外ボランティア」という正規科目として実施されました。海外が初めての人でも、教えることを経験したことがない人でも、一年生でももちろん大丈夫。

②大学教員が引率・現地アシスタントがサポート

授業や生活面のサポート役として、カンボジアの大学生がアシスタントとして参加、寝食を共にします。学生同士の深い文化交流体験を期待してください。

③カンボジアを満喫

日本のようにモノが溢れていることはありません。貧しいといえど確かに貧しい。しかしカンボジアの人たちは明るく前向きに力いっぱい生きています。その活気はどこから来るのか? 「幸せって何?」と考え直すチャンスでもあります。世界遺産のアンコール遺跡群の見学もプログラムに含んでいます。カンボジアを満喫してください。



※時期によりメンバーが変わります



生徒たちの日本語・英語の勉強にとって非常に励みになっているのがうれしい。心から感謝したい。みなさんにお会いできるのを楽しみにしています。

コン・ポーン氏
1937年、カンボジア生まれ。クメール・ルージュに捕らえられるが処刑寸前に逃げる。ポル・ポト政権崩壊後、難民として日本に定住。帰国後の99年、カンボジア日本友好学園を設立。2014年、日本政府より旭日小章章を受章。
カンボジア日本友好学園
コン・ポーン氏が私財を投じてプレイバン州の農村地帯に設立した中等学校。カンボジアでは数少ない日本語を教える学校。生徒数1600。



参加者の声 (2019年夏参加)

不安だった授業が一番楽しい時間だった 茨城キリスト教大学2年 男子 K・Fくん

言葉が通じない異国の子供たちに日本語を教えることは初めてで、本当に上手にやれるか不安でした。しかし、いざ授業を始めるとそんな不安はすぐになくなるくらい授業はスムーズに進みました。私たちの班は、1セット目は日本語での動物の名前と鳴き声を教えて、国によって名前はもちろん鳴き声の表現にも違いがあるということを教え、2セット目では、「WAになって踊ろう」の歌詞とその意味を、3セット目では警察官や歌手など

の職業と「〇〇になりたい」という文章を覚えてもらって短冊に各々自分の将来の夢を書かせる七夕の授業をやりました。子供たちはどの授業でも物凄い大きな声で読んでくれたり、授業を真剣に受けてくれて、その姿に何故か自分も元気をもらっていました。友達には目を輝かせながら授業をしていてと言われたりして、一番辛いところであろうと思っていた授業がこのプログラムの中で一番楽しい時間であったと思っています。

通じない言語を超えて会話をする

茨城キリスト教大学1年 女子 O・Sさん

[トイレは汚い、お風呂は水シャワー、食文化の違い]…最初は、本当に早く帰りたいと思っていましたが、途中からずっとなんかカンボジアにいたい、カンボジアにいることが楽しいと思えるようになりました。そう思えたのは、カンボジアで出会った子どもたち、協力してくれたアシスタント、そして24日間共に過ご

した仲間が存在があったからだと思います。幼児保育を学んでいる私にとって子どもに日本語を教える一緒に学ぶこと、通じない言語を超えて会話をすること、一緒にスポーツをして遊ぶこと、クメール語を子どもたちから教わることは、とても楽しく幸せな時間でした。

去年の参加者のレポートをWEBでお読みいただけます!

